

提案事業名	こどもレストラン	
背景及び目的	<p>近年、生活の習慣の多様化や、家庭環境の変化が激しく、子どもをとりまく生活の変化が子どもの成長に影響を及ぼし、特に、食生活の乱れや子どもの孤食が増え深刻な問題となっています。子どもたちの豊かな心を育む為に、子どもたちが安心して過ごせ誰もが交流できる場所と夕食を提供し、手作り料理でおいしく食事がとれ、子どもが安心して過ごせる居場所、こども育成の地域協働の場として、「こどもレストラン」を一昨年事業提案し採択されました。熊取町子育て支援課と協議を重ね多くの協力を得て2017年4月27日(木)に第1回「こどもレストラン」を開催しました。また、栄養士さんに「食育」についての講演を、「食中毒予防」については泉佐野保健所からきていただき学習会も行いました。長池自治会と長生会、地域のご協力を得て毎月第2・第4木曜日午後6時～7時(準備は4時～6時)に実施してきました。みんなで一緒に夕食を食べることで、心とおなかを満たされ、安心できる時間と居場所づくりに大きな成果がありました。子どもは生活地域が限られています。自分が住んでいる校区内に、子どもと地域のいろいろな価値観を持つ大人が出会える場があって、そこで一緒にご飯を食べて語り合うことで、その子は将来何か困ったことがあっても人に相談したり、自分で乗り越えようとする力を持ち成長していくと考えます。地域の方、長池自治会の協力に感謝しつつ、さらには他の小学校区でも「こどもレストラン」が開催され事業が広がっていけばと考えます。平成31年度も引き続き同じ場所での実施を提案いたします。</p>	
事業期間	2019年4月1日～2020年3月31日	
事業実施場所	長池府営住宅集会所・長池老人憩いの家	
提案タイプ	<p>1. 連携事業 (①事業協力 ②実行委員会 ③アドプト制度)</p> <p>2. <u>補助事業</u></p> <p>3. その他 ()</p>	
1の「連携事業」の場合、町に期待する役割	<p>1 情報の提供・共有 2 活動場所の提供 3 広報活動</p> <p>4 行政機関等との連絡調整</p> <p>5 その他 ()</p>	
2の「補助事業」の場合	事業費総額 (予定)	60万円
	補助申請額 (予定)	30万円

<p style="text-align: center;">事業内容</p> <p>※ 提案事業に関する内容を、より具体的に記入してください。 (別紙可)</p>	<p>「こどもレストラン」の運営は、調理や食事のための場所・設備、調理師、栄養士などと食材・消耗品などの調達スタッフや子どもの学習支援などのスタッフを含め多くの協力が必要となります。南小・南中学校校区の保護者への周知と自治会・子ども会などのご協力とご理解をさらに深めて、地域住民の協力を得る様努めます。基本的には、2017年度と同内容の事業を展開していきたいと考えています。引き続き、運営方法については以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実施は、月2回(年24回予定)(第2・第4木曜日)午後6時～7時までとします。準備は午後4時～最終7時30分には子どもたちを帰宅させます。 ② 調理や食事場所は、長池府営住宅集会所・長池老人憩の家で行います。 ③ 調理や食材調達を担うスタッフは、当協議会のスタッフに加え「こどもレストラン」の呼びかけに地域の方の理解を求め、自治会や団体の代表の方と直接話し参加協力依頼いたします。配膳や片付けは子どもたちで行い、自主性を養います。 ④ 食材は実績のあるいずみ市民生協さんと協定を結び、毎月1回食材の提供を受けます。また地域の農家の方からも無償提供をいただく予定です。 ⑤ 事業費は、この提案が採択され熊取町からの補助金30万円と各種団体、町内業者、地域住民、社保協会員など現金や現物の寄付と参加費(食事代)です。 ⑥ 衛生面について泉佐野保健所の指導を受けます。 ⑦ 食事内容については、経験を生かしてコストも考え、毎回の献立を、栄養士さんが、栄養のバランスを考え献立し調理師と工夫して子どもたちが喜ぶものを提供します。 ⑧ 夕食の時間をともにする参加者どうしや学習支援スタッフの交流を持ち食事を通して子どもたちが、身近な大人と会話を重ね安心して、心をふれあう関係になり、地域での子ども育成の協働の場となれるようにします。 ⑨ 運営・開催において、計画と準備を含めスタッフや自治会、行政担当課との打ち合わせを行い、振り返りと報告を重ねることにより更に良い事業となるように努めます。
<p>特にアピールしたいこと</p>	<p>日本の深刻な社会問題としての子どもの生きづらさ、孤食の問題克服は国と市町村の重大な課題ですが、私たちが住民提案協働事業を提案し採択され実現できたこと、更に熊取町内において南小・南中学校区、長池地区を中心に、こどもレストランの理解と協力が広がりつつあること、そして地域住民と協働して運営することで子どもの健全育成と食育をともに考え、子どもたちの生きづらさとは何かを感じることで、課題解決の一助となると考えます。回数を重ねることにより、子どもの貧困の事情に触れることが出来ました。親の都合により子どもの食事やその時間と費用がいかに犠牲になっているかなど、一見裕福に見える地域社会の中で、問題を抱えていることの多さを痛感しました。経験を生かし近隣自治会からの協力体制づくりや地域住民の更なるボランティア協力、また食材や食器などの無償提供による経費削減により、町内全域への取り組みへと拡充できると確信しています。</p>

住民提案協働事業予算書（団体提案タイプ）

団体名 くまとり社会保障推進協議会提案事業名 こどもレストラン

1 収入

単位：円

項目	金額	内容、算出根拠等
募金	84,000	各種団体、会員等
熊取町補助金	300,000	
夕食売り上げ①	72,000	子ども 100 円×30 名（昨年実績平均より）×24 回
夕食売り上げ②	144,000	大人 300 円×20 名×24 回
合計	600,000	

2 支出

単位：円

項目	金額	内容、算出根拠等
食材費（町内事業所や農家からの無償提供あり）	120,000	1 回 5,000 円（月 2 回実施にて）×24 回
光熱費（使用場所自治会と協議済）	12,000	1,000 円×12 ヶ月
プロパンガス代（昨年度の経験より）	60,000	2,500 円×24 回
栄養士謝礼（交通費相当分）	48,000	2,000 円×24 回
調理師謝礼（交通費相当分）	48,000	2,000 円×24 回
学習支援者への手当（大学生など）	40,000	学習支援や遊びの協力依頼など
印刷費（レストラン便り・案内チラシ等月 2 回）	25,000	レストラン便り・案内チラシ等
雑費（衛生用品等購入）	60,000	台所用品、用具、洗剤等
保険料	57,600	30 円×80 人×24 回（参加者子ども 30 人、大人 20 人、スタッフ 30 人）
通信運搬（食材運送代含む）	10,000	食材調達・運営会議の招集通知の発送など郵送代含む
消耗品費	119,400	ペーパータオル、トイレトペーパー等
合計	600,000	

住民提案協働事業提案団体概要書（団体提案タイプ）

団体名	くまとり社会保障推進協議会
設立年月日	2013年 4月20日
会員数	92人（2018年 6月20日現在）
団体の目的	<p>会は、憲法 25 条「生存権の保障」を暮らしに生かすため、住民の医療・介護・子育て支援などの社会保障の諸課題について、学習と調査・研究を行い、それらの改善・拡充のための活動や事業を行うことを目的としています。</p> <p>孤食の子に食事を提供し、だれでも安心して過ごせる場所として、「こどもレストラン」を設置・運営することは、会の目的に適合し、主な活動内容の一つにあたります。</p>
主な活動内容	<p>会は、結成以来の主な活動内容は次の通りです。</p> <p>(1) 大阪社会保障推進協議会の活動に学び、主として熊取町で、社会保障に関する学習会や相談活動、支援活動を行う。</p> <p>(2) 年金・国民健康保険・介護保険、子育て等の署名活動を行う。</p> <p>(3) 熊取町や大阪府、国への要望活動や議会への請願活動を行う。そして、子どもの生きづらさの深刻さを知る中で、子どもの医療費助成の中学生までの拡充を求めたり、就学助成金制度の拡充を町に要望したりしてきました。要望することによって実現したこともあります。要望するだけでは実現できない実情もあります。昨年度「こどもレストラン」の設置・運営の住民協働による事業を提案し採択され、熊取町からの補助金と協力を受けさらに、南小中学校校区自治会や長生会、子ども会、福祉委員会、民生委員などのご協力で開催することができました。引き続きこの事業が定着し地域に貢献できるように努めています。</p>
宗教活動団体等の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 宗教活動団体もしくは政治活動団体ではありません。
町からの他の補助金等	有（ <input checked="" type="checkbox"/> 無）
今回の提案は	<input checked="" type="checkbox"/> 単独団体による申請です。 <input type="checkbox"/> 複数団体による申請です。 （他団体名